

1 改正「給特法」に伴う勤務時間の上限に関する指針の遵守について

①在校時間管理について

（組 合）

正確な在校時間の記録をとる必要があるが、6月の各校の「勤革時」のデータを見ると、休憩時間の変更がほとんど見られず、土日の出勤の扱いも設定がされていないなどの問題点が多いが、どう活用していこうとしているのか。

（教 委）

来年度校務支援ソフトの更新時期となっている。新しい校務支援ソフトに入っている勤退管理システムにより「見える化」し、在校時間の把握をしていく方向。

（組 合）

システムの導入だけでなく、教員の労働安全衛生教育の普及・徹底をしないと掛け声だけで終わってしまう。教育委員会が指導してほしい。

（教 委）

時間がかかるが検討していく。

（組 合）

持ち帰り業務が増えないよう、持ち帰り業務の時間を調べる計画はあるか。

（教 委）

今のところ調べる予定はない。

②本来の業務でない仕事の軽減について

（組 合）

労働時間の正確な把握をするだけでなく、どこかの労働を減らすのかが労働削減。教職員会などの外部団体や任意団体の業務は、本来の仕事ではないので、まずそこから減らしていく。

（教 委）

出張等必要と認めているからだが、多忙化の中で在校時間が減らない場合、今後の議論の対象になる。

③部活動について

（組 合）

小学校の部活が来年度から中止になったが、中学校の部活指導もかなり先生方の負担になってきている。

（教 委）

中学校の朝部活はやっていない。午後の時間も短くする（～17:30）方向で市のガイドラインを見直した。

（組 合）

部活動の「学校教育からの切り離しプラン」を作成していくことが大事。

（教 委）

小学校での今までの活動を補えるように、スポーツ課や社会教育課と相談しているところ。

（組 合）

土日の部活指導員の検討はしているのか。

（教 委）

スポーツ課で人材バンクのようなものがないか検討はしているが、平日と土日で指導者が代わる難しい問題がある。

④教務・校務の異動について

（組 合）

教務・校務は教諭なのに別の扱になっている。これは違法なので改善を教育事務所に申し出た。教務・校務は管理職ではない。異動希望を書かないのはおかしい。同じ扱いにすべき。

⑤学校訪問について

（組 合）

以前から提案しているように、指導案の簡略化（A4 1枚）や日程そのものを減らす（半日にする）。

県教委が多忙化解消プランの中で、「学校訪問等の機会を通じて各学校の多忙化解消がどれだけ進んでいるか点検し不十分だったら指導すること」とあるので、多忙化解消が進んでいるかどうかの項目を学校訪問実施要項に明示すべき。

（教 委）

学校訪問時に多忙化解消については必ず話題にしている。

（組 合）

主事の仕事が、学校訪問実施要項着眼点8項目の中の授業の指導に偏っていないか。生徒指導や現職教育、健康教育やコロナ対策等学校経営全体の視点から学校経営目標がどれだけ到達しているかという視点で指導すべき。

⑥再任用ハーフ2人で1学級担任をしていることについて

（組 合）

加木屋南小学校では、再任用ハーフ2人で学級担任をしていて指導が大変という話を聞くが、校長から再任用ハーフ2人で学級担任をするという話が教育委員会にあったか。

(教 委)

加南小の校長からは相談があった。

2人でクラスを担当するという経験は今までないし課題は多いと思うが、学校現場は先生たちの働き方がとても多様になってきているので、複数で一つのクラスを見るという考え方もっていないと学校がうまく回らないのではないか。

(組 合)

尾張の北部や西三河の特別支援学級で、ハーフ2人で学級担任をするのが広まっていて、「とてもやりにくく困っている」と言ったら、県教委は「できればそうならない方がいい。なるべく避けるべきだ」という立場をとっている。

(教 委)

ハーフ2人で学級担任は極力避けていきたい。

(組 合)

知多半島では2校。普通学級は東海市だけなので、これ以上広がらないように是正をお願いしたい。

⑦各校にICT支援員を常駐させることについて

(組 合)

児童に支給されたノートパソコンの活用を図るために、ICT支援員の充実をお願いしたい。

(教 委)

現在は3校に1人。各校月5回から8回。予算の関係もあるので、大府市には及ばないが他の市町に比べて少ないわけではない。今後検討していく。

⑧男女混合名簿の導入について

(組 合)

ジェンダー差別解消の立場から、東海市でも男女混合名簿の導入を推進する予定はあるか。全国的には84%を超えている。愛知県内でも導入しているところがあるが業務が増えるなどの問題は起きていない。

(教 委)

これからそういうことを意識していく時代になっている。

⑨キャリアスクールプロジェクトについて

(組 合)

コロナ収束後、職場体験が担当者の大きな負担になるのではないか。

(教 委)

コロナのこともあるが今はやっていないし、今後やらな方向。「職業人の話を聞く会」など各校の裁量で実施。個人の記録の保存もパソコンに写真に撮って保存する。

その他に、応募作品業務の軽減や朝の挨拶運動・交通当番等の勤務時間外の業務は極力させないことなどを要望しました。

2 その他の項目

(組 合)

特別教室（音楽室や美術室）体育館のエアコン設置の予定はあるか。

(教 委)

特別教室については要望しているがすぐには難しい。体育館については避難所になっていることもあり2校（名和中と横須賀中）予定している。プロパンガス対応で災害でも使えるようにする。一番欲しい特別教室のエアコンは、要望しているがなかなか予算がつかない。

(組 合)

学校が古いところは、洋式トイレが少なく汚い。洋式トイレの数を増やしてほしい。

(教 委)

トイレの全面改修が一番いいが、予算上すぐには無理なので、とりあえず臭い対策を予算要望している。

(組 合)

校務支援ソフトを現在のC4thからスズキのソフトへ変更するにあたって、その他の使用するソフト選定も含め職員にもフィードバックが必要。

(教 委)

移行に伴う不都合がないようにしたい。ソフトの選定は、各校から数名ずつ出してもらい検討した結果による変更であり、今後、業者による使い方の説明会を予定している。

(組 合)

米沢交流などの交流事業は、ネットを使って実施するなど職員の業務負担の軽減ができるのではないか。

(教 委)

それぞれ良い面があるが、先生たちの負担にならないように考えていきたい。

(組 合)

学校施設の老朽化対策はどうか

(教 委)

合併時にできた施設が多いので、どこの施設も建て替えの時期。お金がかかるので、長寿命化計画で建築から50年での建て替えを80年にしている。

その他、5年の林間学校の場所を近場にして、一泊2日にするいい機会ではないか検討してほしい等要望しました。